

# 本巢市防災ハンドブック

## 洪水・土砂災害編

### 防災チェックリスト

あなたの防災力を自己診断

- 家族がお互いに安否確認する方法が決まっている
- 災害用伝言ダイヤルの使用方法を知っている
- どの時点で避難するか、家族全員が理解している
- 家族全員がそれぞれの帰宅ルートを知っている
- 指定緊急避難場所、指定避難所を知っている
- 複数の避難経路を知っている
- 非常用に持ち出すものを準備している
- 防災備品が用意され、設置場所も決まっており、充電や賞味期限を定期的を確認している
- ご近所同士、災害時の避難行動について話し合いをして協力体制ができている
- ご近所に、避難行動に支援が必要な人を知っている
- 応急手当や AED の使用方法を理解している
- 避難をはじめるときのタイミングを判断することができる

いかがでしたか？ 災害に強い生活をするポイントを本冊子で確認しましょう。

この度、平成28年12月に根尾川(国管理区間)及び揖斐川の浸水想定区域図が見直されたことに伴い、洪水ハザードマップを改訂し、市民の皆さま方へ周知させていただくこととなりました。

洪水ハザードマップは、これまで100年に1度と言われるような大規模な降雨を想定していましたが、近年、局地的な豪雨や突発的な豪雨により全国各地で毎年甚大な被害が発生しており、平成27年9月の関東・東北豪雨災害では、これまでの想定を大きく超える豪雨により河川が氾濫し、甚大な被害が発生しました。平成27年に改正された水防法に基づき、想定し得る最大規模の降雨(1000年に1度の大規模な豪雨を想定)により河川が氾濫した場合の影響範囲を示す浸水想定区域が指定され、公表されました。

市民の皆さまにおかれましては、この洪水ハザードマップをご活用いただき、新たな想定による水害のリスクを認識し、家族、地域において日頃からの備えを話し合うことはもとより、ひとたび発生した時には、自分自身の命を守るための最善の行動をとっていただくことを切に願うものです。

## ごあいさつ

1

## わが市の災害

2

## 洪水について

3

- ▶ 洪水の起こり方
- ▶ 用語の説明
- ▶ いち早く避難をするために  
(防災無線とエリアメール等に注意してください)

、

## 土砂災害について

6

- ▶ 土砂災害の種類と前兆現象
- ▶ 土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域

## 日頃からの備え

7

- ▶ 事前にできる防災対策
- ▶ 大雨・洪水に関する防災情報の概ねの流れ

## 避難の心得

9

- ▶ 自分にあつた防災行動を  
予め決めておきましょう【マイタイムライン】
- ▶ 避難時に注意すること
- ▶ 非常時持ち出し品



▶ 土砂災害に対する警戒が必要な場所

所、避難所